

氏名	郡 良 文
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博甲第862号
学位授与の日付	平成2年3月31日
学位授与の要件	医学研究科病理系ウイルス学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	単純ヘルペスウイルス1型 <i>in vitro</i> 長期持続感染株のゲノムに認められた <i>Bam</i> HI-T, J' 両断片間の制限酵素切断点の欠失
論文審査委員	教授 矢部芳郎    教授 金政泰弘    教授 関 周司

### 学位論文内容の要旨

単純ヘルペスウイルス1型 (HSV-1) 深山株に属する7種類の亜株 (5種類の細胞変性効果変異株と2種類の *in vitro* 長期持続感染株) のゲノム DNA の, 制限酵素 (*Bam*HI) 切断パターンを比較した。

クローン化深山-GCr株 DNA断片をプローブとしたサザンハイブリダイゼーションによる分析から, 7種類の亜株のうち持続感染株である  $\alpha$ V株のみにおいて, *Bam*HI-T, J' 両断片間の制限酵素切断点が欠失していることが確認された。この制限酵素切断点は, これまで, 同一原株に由来する亜株間および単一ブラッククローン間では変化せず, その異同は, 分子疫学における株間の鑑別に利用されてきた。今回認められた制限酵素切断点の欠失は, ウイルスの *in vitro* における継代で, 初めて見いだされたものであり, 14年間にも及ぶ持続感染の間, 絶え間なく繰り返されてきた HSV-1ゲノム複製の回数の多さが, この変化に関与しているものと推測された。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は, 単純ヘルペスウイルス1型深山株に属する7つの亜株のゲノム DNA を制限酵素 *Bam*HI で切断し, その中の  $\alpha$ V株においては, *Bam*HI-T, J' 両断片間の切断点が欠失していることを認め, 長い持続感染の後には安定領域とされる部分においても変異がおこることを示したもので, 医学博士の学位に値する業績であると認める。